

## ごみ減量化大作戦の結果と令和5年度の実施について

令和4年度のごみ処理量のうち、可燃ごみ量、不燃ごみ量、粗大ごみ量が確定しましたので、令和3年度との比較を含めてお知らせします。

右表のとおり、可燃ごみ・不燃ごみについては、令和3年度から減少

しましたが、粗大ごみについては増加となりました。令和4年度の一人1日あたりの可燃ごみ量(3月31日現在の人口で計算)については、“739.8g”となりました。

令和5年度の“レッツ・トライ”「可燃ごみ10%減量化大作戦」への取り組みについて、下記のとおりお願いします。

(単位：トン)

品目	令和3年度	令和4年度	比較
可燃ごみ	1,278.26	1,266.83	-11.43
不燃ごみ	40.56	32.54	-8.02
粗大ごみ	76.52	82.19	+5.67

### 《“レッツ・トライ”「可燃ごみ10%減量化大作戦」の実施について》

令和3年6月から令和4年5月までの1年間、“レッツ・トライ”「可燃ごみ10%減量化大作戦」と題し、可燃ごみの減量化を住民みなさんへお願いしました。

減量目標は、令和元年度の可燃ごみ量(一人1日あたり709.4g)の10%にあたる638.4g(-71g)への減量を目指してもらいました。

年間をとおしての結果は、令和4年2月の一度だけでしたが、603.9g(目標から-34.5g)の減量が達成されました。

今年は、6月の一月間を“レッツ・トライ”「可燃ごみ10%減量化大作戦」の月とさせていただき、住民みなさんには、可燃ごみ減量化への取り組みをお願いします。

今年の目標は、令和4年度の一人1日あたりのごみ量“739.8g”の10%として、665.8g(-74g)への減量を目指してください。

結果につきましては、広報おくたま8月号でお知らせします。

#### ー減量方法の紹介ー

- ・食品ロスを意識した行動を心がけましょう(買い過ぎや作り過ぎ、食べ残しなどを減らす)。
- ・シャンプー、台所洗剤、洗濯洗剤などは、ボトルでなく詰め替え可能な製品を購入しましょう。
- ・包装紙や布類で、資源に回せるものは、資源として出すことを徹底しましょう。
- ・生ごみはよく水切りしましょう。(生ごみの水分量は70~80%と言われています。生ごみの水切りをよくすることで、悪臭の防止やごみ袋を小さくすることも可能です。)
- ・買い物には、簡易的な包装の物を購入するなど、あとからごみになるものを出来るだけ減らしましょう。

### 《“ごみを減らす10アクション”(食品ロス削減への取組)》

広報おくたま4月号では、食品ロスの主な発生要因について、紹介しました。

今回は、食品ロスにより家計にかかる負担についてです。広報おくたま2月号で一般家庭から発生した食品ロスは約284万トン(2017年度)で、全体の約半分になるとお知らせしました。

それを家計にあてはめると、4人家族で1世帯あたり年間約6万円相当の食品を捨てていることとなります。食品ロス削減を意識した生活を心がけていただくことで、ごみの減量につながり、物価の高騰が続いているなか、無駄な出費もおさえられます。